

8. 本時のねらいと展開

1 年 生		2 年 生		
ね ら い	「ぼく」が「エルフ」にしたことを抜き出し、「ぼく」が「エルフ」をどんなに大切にしていたかを想像して話すことができる。		あきらめと、悲しみを深めていくがまくんの気持ちや、がまくんを励ましながら、心配そうにお手紙を待つかえるくんの気持ちを想像して音読することができる。	
過 程	学 習 活 動	教師の指導・援助	教師の指導・援助	学 習 活 動
つ か む	<p>場面3を音読する。 前の学習をふりかえる。 ・「ぼく」と「エルフ」がとても仲がよかったことを確かめる。 学習課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ぼく」が「エルフ」にしたことを抜き出し、「ぼく」が「エルフ」をどのように思っていたかを想像して発表しよう。</p> </div>	<p>学習リーダーとの打ち合わせをしておく。 ・場面の様子が見える挿絵を準備する。 N:音読の際横につく。</p>	<p>学習リーダーとの打ち合わせをしておく。 ・場面の様子が見える挿絵を準備する。</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「お手紙なんかきやしない」と言うがまくんの気持ちや、がまくんにお手紙を待つように言うかえるくんの気持ちを想像して、音読しよう。</p> </div>
ふ か め る	<p>「ぼく」が「エルフ」にしたことを抜き出してワークシートに書こう。 ・じゅういさんにつれていった。 ・「エルフ」は階段も上れなくなったけど、「ぼく」のへやへつれていった。 ・しんだ「エルフ」を、にわにうめた。 ・かたをだきあってないた。 「ぼく」が「エルフ」のことを大切にしていたことがわかることを発表しよう。またどんなふうに大切にしていたかも話してみよう。 ・「エルフ」がふとって、としをとり、散歩をいやがるようになってとても心配した。・・・びょうきなんだろうか。 ・「エルフ」は「ぼく」のへやでねなくちゃいけない。 ・・・いつもいっしょでなければいけない。 ・やわらかいまくらをやった。・・・気持ちがいいよ。 ・「エルフ、ずうっとだいすきだよ。」って言ってやった。・・・だれよりもエルフのことを好きだと思っている。 だれもいわなかったけど、「ぼく」だけはちゃんとやってやったので、エルフもわかってくれた。 ・まいばんエルフに「ずうっと、大好きだよ。」って、言ってやっていたからね。・・・まいにち大好きだよって言って、エルフがわかってきていると思うと、みんなより悲しくない。 「ぼく」が「エルフ」を大好きで、大切にしていたことを想像しながら、音読する。</p>	<p>ワークシートに書いているかたしかめる。 N・A:書くことが遅いため、急ぐよう声をかける 書いたことだけを発表するのではなく、自分が想像したこと話すように助言する。 ・自分の考えに理由付けができるよう助言する。 ・本文の言葉 ・挿絵 「ぼく」の心情や場面の様子を考えられるように、問いかけをしながら進める。 ・エルフが散歩をいやがるようになったとき、ぼくはどんなきもちだったかな。 ・エルフはぼくに大切にされてどんな気持ちだったかな？ ・エルフが死んだとき、ぼくはどんなきもちだったかな。 ・自己評価したことを価値付ける。</p>	<p>N:前時までの学習をふりかえる 前時までの様子と比べてたりして考えているか評価する。 ・役割読みをしてみる。 N:ワークシートに書き込むよう指示する。 ・抜き出した会話を役割読みしてみる。 N:意見交流の際の指示。 本文を拡大したものにそれぞれの考えを書き込んでいく。 ・自分の考えに理由付けができるよう助言する。 ・本文の言葉 ・挿絵 ・役割読みをしてみる。 交代にがまくんとかえるくんになって読む。</p>	<p>第3場面を音読する。 前時までの様子と比べてみる。 教科書から二人の会話をワークシートにぬき出して書き、くらべる。 書き出したことを交流する。 がまくん かえるくん ・「いやだよ。・・・」 ・「きみ、おきてさ・・・」 あきあきしたよ。」 いいと思うな。」 ・「そんなこと・・・」 ・「ひょっとして・・・」</p> <p>がまくんとかえるくんの様子や気持ちがわかる場所に線を引こう。</p> <p>線を引いたところを発表しよう。どんな気持ちなのか想像して話してみよう。 ・「きみ、おきてさ・・・」のところで、かえるくんはがまくんに、あきらめないでお手紙を待とうと励ましている。 ・「いやだよ。あきあきしたよ。」というところから、あきらめているがまくんの様子が見える。 ・「ひょっとしてだれかが・・・」のところで、がまくんのために自分が書いた手紙が来ないか心配しながら窓を見ている。 ・「ばからしいこと、言うなよ。」のところで、何度もかえるくんに声をかけられて、怒っている。 (予想)N:がまくんはあきらめてすねてねている。 H:がまくんはかえるくんに何度も言われて怒っている。 がまくんのあきらめや、かえるくんの一生懸命さが表れるように音読する。</p>
ま と め る	<p>一人ひとり発表し、良いところを評価し合う。 学習を振り返り自己評価する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B:「ぼく」が「エルフ」にしたことを読み取り、「ぼく」が「エルフ」をどんなに大切にしていたかを想像して発表している。</p> </div>	<p>自己評価したことを価値付ける。</p>	<p>お互いに良いところを見つけ、評価し合う。 学習を振り返り、自己評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B:あきらめ、いっそう悲しくなっていくがまくんの気持ちや、何とかお手紙を待つようにがまくんを励ましながらかえるくんの気持ちを想像しながら読んでいる。</p> </div>